

提案趣旨説明書

< 作品タイトル >

まちを再生する壺 (POD)

< 提案の趣旨 >

・ 様々な活動・交流の結節・ネットワークの拠点をつくる。地域資源（畜産、スポーツ、緑農資源）を最大限に活用し、地域外からも多様な担い手を呼び込み、真駒内ならではの地域再生を実現。その先導事業として、駅前の土地を活用し区役所・MICE 施設と一体となった「アクティビティ・ポッド」（活動・交流の壺）を設け、観光・レクリエーション、交流、畜産等の学術研究、地域医療、見守り・福祉・介護、スポーツ・健康増進、子育て等の取り組みを展開。



・ また、単に、駅前施設のみならず、地域資源（住宅ストックや空き家、緑農地）を活用し地域全体でまちを再生。連鎖的な展開として、ストック再生の段階で、駅後背の団地を集約させながらコンパクトなまちに再生していく。

■国際 MICE 機能の導入による国内外から人を呼び込む

・ 本格的な MICE 機能としては、絶対的な空間両が足りない。また、空間を確保しても企画がついていかないと人の呼び込みにはつながらない。そのため、真駒内の持つ地域資源を最大限活用し、畜産技術やスポーツ関係のコンベンションの開催を主軸として人を呼び込む。

・ 本体となる MICE 施設と併せて、アクティビティ・ポッド内に中小のイベントスペースやアフターコンベンション機能を分散配置するとともに、隣接する住宅ストックの一部を土地利用転換し、サービスアパートメントやホテル当、宿泊・滞在施設を確保するなど、まち全体で MICE 機能を担う。

■観光・レクリエーション拠点を創る

・ 地域資源を最大限活用し、真駒内ならではの観光に繋げる。広域的に広がる緑農地や地域に散在する観光資源を有機的にネットワークさせる。併せて、観光・レクリエーションの情報戦略の拠点をアクティビティ・ポッド内に配置、各方面への情報発信を通じて、来街者を誘引し、新たな生業・地域雇用に繋げる。

■まちの界隈空間を創る

・ まちに界隈空間は欠かせない。飲み屋横丁、カフェ・レストラン、生鮮品や畜産加工品の直売所、銭湯、イベント広場や憩のたまり場などをアクティビティ・ポッド内に埋め込み、アフターコンベンションの交流の場としての利用も含め、地域内外の人々の交流促進に繋げる。

■地域包括ケアの拠点を創る

・ 地区内の空家・空室を活用し孤立する高齢者の住まいの確保と見守り・生活支援を担う機能をまちづくり協議会（将来的には地域再生プラットフォーム）が担う。本部機能をアクティビティ・ポッド内に設け、サテライトを地区内に分散配置。地元不動産協会と連携しながら空家の情報管理や住まい手とのマッチング。併せて、介護保険に基づかないインフォーマルサポートを地域内の NPO や民生委員と協力し、地域共助型で地域包括ケアの実現を目指す。

■地域再生のプラットフォームづくりを目指す

・ 場所を創っても動かない。実施の体制・仕組みづくりが必要。地域再生のプラットフォームづくりをめざし、参加の輪を広げながら段階的に地域マネジメントの体制づくりを進め持続的な運営をめざす。関係主体や取組に賛同する国内外の者から出資を募り、活動の原資の一部とするとも、各取組の収益をプール、基金として積み立て、活動資金の一部に充当する。

■動的な展開により「次世代真駒内モデル」を創る

・ トリガーとしてアクティビティ・ポッドづくりを通じて、まちの活性化を誘発し、それを契機に、ストックの再生・まちのコンパクト化に向けた次期取り組みを実施し、次世代真駒内モデルを創る。